

【長野県】【長野労働局ハローワーク長野マザーズコーナー】 長野県と長野マザーズコーナーとの連携により、 子育て中の女性に対する就職支援を実施

【課題・目的】

子育て等により離職した女性は再就職や育休復帰後の就業に悩みや不安を抱えており、そのような子育て中の女性に対し、ハローワークと県が連携して保育や就職等についての情報提供・相談を行うとともに、就職支援セミナー、職業紹介を一貫して行うことで、子育て中の女性の就職促進を図る。

【実施概要】

長野マザーズコーナー（ハローワーク長野外部施設）に隣接する県の施設（ジョブカフェ信州）に県の「子育て女性の就業促進事業」により女性就業アドバイザーが配置され、マザーズコーナー利用者の希望に応じ、同アドバイザーがマザーズコーナーの専用窓口に移動し、県の施策に基づく各種情報の提供や相談を実施。また、ハローワークと県が連携し、子育て女性のための就職支援セミナーをマザーズコーナーにおいて月1回程度開催。

【役割分担】

【長野県】

- ◆マザーズコーナー利用者に対する女性就業アドバイザーによる就業相談
- ◆県の独自サービス等に関する情報提供、県システムへの利用登録
- ◆就職支援セミナーの企画、開催

【ハローワーク】

- ◆マザーズコーナー利用者に対する職業紹介・相談
- ◆県のアドバイザーに対する相談窓口の提供
- ◆就職支援セミナーの企画、受講者のための託児契約の締結

【効果】

- ◆県のアドバイザーがマザーズコーナーで直接支援を行う等の機動的な対応により、国と県の就職支援をワンストップで受けることができ、利用者のサービス向上につながっている。
- ◆セミナーの定期開催により、就職のための知識習得の機会が増大している。県及び国の事業について、相互利用が見込まれる。



就職支援セミナー実施風景



＜長野県コメント＞

女性の就業促進は当県における重要施策の一つであり、県と国が一体となって、女性一人ひとりのニーズに沿った対応をとることで、就職に結び付いていくことを期待したい。

＜労働局コメント＞

マザーズコーナー内の県のサービス提供は、求職者への情報提供の幅が広がり、セミナー開催数が増大することと合わせ、国の就職支援サービスとの相乗効果が生じている。